

第7回郡山市制施行100周年記念事業プロモーション委員会開催結果概要

2024（令和6）年3月8日（金）から22日（金）までの期間で書面により開催された、第7回郡山市制施行100周年記念事業プロモーション委員会の開催結果についてお知らせします。

○議事

次の項目について事務局から説明し、委員の皆様からは様々な意見をいただきました。

- (1)今後のプロモーション委員会のスケジュールについて
- (2)令和6年度当初予算を踏まえた記念事業の詳細について

【主な意見】

「今後のプロモーション委員会のスケジュールについて」

- ・記念事業が1月から動き出しているが、行事に参加した当事者を除いて、市民の盛り上がりは無い。プロモーションを目的とした委員会としては「なぜか？」を分析し、9月の施行日イベントに備えるべきであり、6月の委員会開催では遅いと思う。少しでも良い方向へと意見を求められるのであれば、大型連休明けなど前倒し開催があって良いと考える
- ・委員会の位置づけや委員の役割について「分からない」という声を、未だに委員会内部から耳にする。特設ウェブサイトでも「開催した日と出席委員」は分かるが、具体的にどんなことが話されたのか分からない

「令和6年度当初予算を踏まえた記念事業の詳細について」

- ・GReeeeNによる記念楽曲の制作は大変良い事業であり、期待したい。市の広報やイベントのBGMに使うだけでは広がりを持たず、郡山市の全国発信にはつながらない。全国的に認知されて初めて「郡山プライド」になるのであるから、GReeeeNが全国枠で販売しヒットにつながるよう権利関係などで協力、支援すべきと考える
- ・未来を担う世代への働きかけとしてZ世代に力点が置かれている一方、古里への思いを心に焼き付ける意味では感受性の高い中学生以下に「市制100年の意味」を考えてもらう機会が少ないように思う。公立学校でもっと積極的に考える場があってもいいのではないか。
- ・郡山の100年を担ってこられた世代への感謝や、苦難の道を振り返り称える取り組みが少ないと思う
- ・ウェブサイトアップされたPR動画について、制作意図を踏まえて、その対象者層の反応を分析していただき、次の活用シーンへの対策につなげてほしい。
- ・子どもも参加できる食のイベントがあってもいいのかなと思う
- ・公会堂等を会場に行う記念事業について、小・中学生が参加しやすいものとしてほしい
- ・安積疏水・安積開拓シンポジウムについて、パネリストとして藤田 龍之様の起用を検討していただきたい